

ほのぼの苑だより

題字：佐藤 悦郎 様



医療法人正和会

ケアコンプレックス 湯上

デイサービスセンターふくろう

ショートステイこうのとり

菅原事務長 挨拶



正和会 昭
和地区 本体
に所属し、十
年目になりま
した。訪問看
護、ヘルパー、

居宅介護支援事業所を経て、平成十六年四月よりほのぼの苑事務長職を担当して参りました。理事長と共に異動になりましたので、私自身が特別一人で何かを成し遂げたというような実績はいくら考えても、思い起こされませんでした。私としてはほのぼの苑という、正和会でも一番大きな事業所に身を置き、この三年間で役割分担の大切さについて学んだように思います。中間管理職の意見の集約、部下の仕事上の精神面への配慮、利用者の家族に対する相談など、やや目立たないことをコツコツやってきたように思います。

新規事業がきちんと地域に根ざすように再びコツコツと細かなことからやっていきたいと思えます。また少人数の事業所となりますが、通所の方、入所の方、家族の方、職員みんなが毎日真剣な中にもケラケラ笑い声が絶えない施設にしたいと思っています。遊びがてら皆様にも見学に来てもらいたいと思っております。

ほのぼの苑ご利用の皆様やご家族の皆様には日頃より窓口にて、お礼の言葉を頂いてまいりました。本来は私どもより、もっともお礼や感謝の気持ちを述べなければと思います。今は少し反省しております。七月より新体制となり、再びほのぼの苑が活気あふれ、利用者の方々の満足度が高まることと思えます。三年間、本当にお世話になりました。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りしております。



ケアコンプレックス潟上の紹介



正面入口



デイサービス洗面



デイサービスルーム



デイサービス 畳部屋



一般浴槽



ショートステイ居室



ショートステイ ナースステーション



ショートステイ 居室内



ショートステイ 食堂ホール



ちよつとイイ話

〜五月二十日の業務日誌より〜

「ほのぼの苑 ちよつとイイ話」
は、苑内での感動する話をご紹介します。
するコーナーです。

ほのぼの苑 ちよつとイイ話



今日はヤートセの踊りを見に行った入苑者の方達が「あいだは良かったなあ。」と言っていました。話しを聞くと一緒に踊ったという入苑者の方もおり、こちらに戻って来てからも覚えた踊りを踊っていました。入苑者の方達がとても喜んでいたので、良かったと思えます。

本日ボランティアで「ヤートセ踊り」を見させていただきました。入苑者の方も一緒に踊ったりして、楽しい時間を過ごせたと思います。笑っている人や感動して涙を流す人もいました。これからも多くのボランティアの方が来苑していただけたら、皆さんも喜ぶだろうなあと思いました。

今日は、入苑者の方々と、ヤートセ踊りを見ました。手拍子しながらご覧になる方。笑顔が絶えず、見られる方、嬉しさのあまり、涙を流しながら見ている方がおりました。その入苑者の方々の表情を見ると、私自身も楽しく、嬉しくなり、一緒に手を叩いて見えて良かったです。



ほのぼ農園物語

初めまして。本号よりほのぼ農園物語を担当させていただきますことになりました佐藤と申します。まだ始めて間もないため、至らない点が多々あるかもしれませんが、ほのぼ農園物語を読んでくださる皆様に農園に関することを分かりやすくご理解いただけるよう努めてまいります。

さて、最近の農園での活動ですが、五月下旬に夏野菜（トマト、きゅうり、なす、パプリカ等）の苗を植えました。入苑者の皆さんと一緒に作業しましたが、成長過程をとても楽しみにしていらつしやいました。日々水やり、手入れをしっかりと行い、美味しい夏野菜を作っていければと感じています。

また、同じ時期に室内で手入れしていたジャンボポチャを畑へ苗植えしています。左の写真は最近のカポチャの様子です。すこしでも大きくなるよう、園芸のメンバー皆で協力しながら頑張っていきます。



第十三回 家族会 議事録

第十三回 家族会は、平成十九年五月二十七日(日)午後二時より、食堂にて行われました。ほのぼの苑だよりの誌面にて、質疑応答等に関する資料を掲載致しますので、ご参加頂けなかったご家族の皆さんもご覧ください。

七月の家族会は行事という形で七月二十八日 午後二時より行われる正和会 健康まつりに入苑者の方と一緒にご家族の方も見学等に参加していただきたいと考えております。お忙しい中とは存じますが、是非ご参加頂けるようご協力の程よろしくお願い申し上げます。

◆質疑応答◆

Q ステーションは、どのように分けているのですか。

A ご家族のご要望や、利用者本人の生活状況等を考慮し、決定する。

Q ほのぼの苑の喫煙状況を教えてください。

A 喫煙される方のタバコは、各ステーションにて管理されている。出来れば吸いたい方には吸わせてあげたいが、今後、禁煙・分煙について検討していく。

Q 葉の処方内容を知りたい。

A 処方内容を知りたい御家族の方は、各ステーションの看護師に尋ねていただければ回答する。変更になったときの対応も今後検討する。

Q トイレの便座が汚れている。

A 汚れていることがないようにトイレの見回りを強化する。

Q 洗面タオルはどうしていますか。

A 洗面専用の使い捨てタオルを準備している。使用時は冷たいので、暖めて入所者に利用していただいている。衛生面には充分注意している。

Q ケアコンプレックス湯上の短期入所について教えてください。

A 七尾介護職員及び菅原事務長が説明。

Q 指の動きが悪くなってきたらどうにかありませんか。

A リハビリ科で再度、検討し対応する。



幸福

“幸福”についてと言われた時、頭に浮かんだのが学生時代に読んだヘルマン・ヘッセの『幸福論』だった。

『若い時、人々の口にする幸福とは、何か積極的な絶対的に価値のあるものを意味するが、生涯の半ばをはるかに越して初めて、それは根本においては平凡なものを意味していると感ずる』と撞かれていた。当時の私にはとても哲学的に思えたものである。

自分にとっての“幸福”とは何かをじっくり考えてみると、二十代、育児・家事・仕事に追われ、ホット一息つきほのぼのの幸せを感じたのは、昼間は小悪魔の息子が遊び疲れて天使のような寝顔で眠る姿を見ることがだった。四十年代、家族が無事に帰り着き、「おしい。」と言って平らげてくれる夕餉の団欒の一時。どちらもやはり物質的なものではなく、日常の中の平凡な一瞬なのである。

ほのぼの苑に出会った方から「朝、目覚めることが出来た事に感謝。床に就き、一日が無事終えたことに感謝。そして明日の朝も目覚めますようにと祈る。歳をとるとこんな日常の始まりと終わりが幸せ。これだからどれぐらい元気でいられるかわからないけれど、一日一日を楽しく笑って過ごす、これ

が幸せ。」と言われたことがある。とても心に残る言葉だった。

いずれはそう感じる時期が私にも訪れるのだろうか、今しばらくは家族と、そしてほのぼの苑という大家族の中で、小さな幸せを積み重ねていこうと思う。

ポツリと一言

今号の表紙に掲載し、誌面にも特集記事という形で紹介した『ケアコンプレックス湯上』が七月一日に天王グリーンランド向かいに開設致します。通所三十名、短期入所二十名の定員からするとかなり大きな施設となっております。開設に伴い、菅原事務長が管理者として異動となり、ほのぼの苑事務長の交代があることを今後この誌面でお知らせしていききたいと思います。

発行



医療法人 正和会

介護老人保健施設 ほのぼの苑

〒018-1401

秋田県湯上市昭和久保字街道下 92-1

電話 018-877-7115 FAX 018-877-7481

ホームページ

http://www.seiwakai-akita-nol.or.jp/

編集責任者 加藤 稔樹

発行責任者 小玉 敏央